

指定障害者支援施設

さやま園  だより

GOOD DAY SUNSHINE PROJECT!



No.202

2017.Dec.

園長 NOTE

荒井園長 編



今、あらためて想うこと…。

自転車通勤が復活し、たかだかの通勤距離で太ももが悲鳴を上げ、やっと6段ギアの6段で走れるようになったのはいいのですが、暑い季節から寒い季節へと時季は移り、寒さを肌で感じながら早速防水・防寒手袋を購入し通勤しています。

そんな中、またも虚しくも悲しい事件が起きてしまいました。皆さん報道でご存じのとおり、「クリード青梅」での死亡事故です。障害があっても人として豊かな生活を送る権利を冒とくした事件であり、状況を聞けば聞くほど居た堪れない気持ちになります。

さやま園に出勤すると決まって「荒井さん、おはよう」と声をかけてくれる利用者がいます。荒井さんと呼んでくれるのは異動前の自分を知っている方で、何となくほっとします。しかし、これまで元気に走っていた方が車いすで移動しているのを見て、時の流れを強く感じるとともに、自分も年をとったなあと思います。そして、今、あらためて想うことは、“人生の楽しみ方とは？”“生きていくとは？”ということです。難しく哲学的に考えているわけではありませんが、

これまでの自分を支えてくれた人は紛れもなくさやま園の利用者であり、自分の人生の大半が障害のある方々との関わりです。いわば人生そのものです。この事件をとおし、人として一緒に過ごしていく楽しさ、大切さをあらためて考えさせられました。

美味しいものを食べに行くこと、映画を見に行くこと、ショッピングに行くこと、電車に乗って・バスに乗って・飛行機に乗って旅行に行くこと、どれもこれも楽しいことです。でも一番楽しいのは、寄り添いあえる関係ではないでしょうか。それがなければ楽しくはないですね。これからは、よりゆっくり、あせらずのんびり楽しんでいきたいと思います。

10月15日のさやま園祭では雨の中、多くの方にご来園を頂きありがとうございました。この場をお借りし御礼申し上げます。

園長 荒井隆夫

LET'S
DANCE!



ダンスパーティー

さやま園ホールにて仮装ダンスパーティーが行われ、ホールはきらびやかなライトとにぎやかな音楽で包まれました。

「クラブ」や「ディスコ」に行った経験がないであろう利用者のみなさんに、少しでも気分を味わってもらおうと企画したこのイベント。多くのボランティアの方にも来ていただき大盛況でした。

ホールの北には衣装や被り物、南には飲食コーナー、東にはバーカウンターとバーテンダーに扮した職員、西にはダンスフロアと一流ダンサーたち。

ドレスコードはもちろん仮装！入り口で好きな衣装を身にまとして普段と違う私になってもらいます！踊ることが難しい方も楽器を片手にノリノリ。なかにはひたすらジュースとおやつを食べている方もいました。食べすぎには注意！（笑）みなさんそれぞれの楽しみ方をしています。

パーティーで一番の盛り上がりはなんといっても「炭坑節」！！

さやま園の利用者の多くが知っているであろうと選曲したところまさかの大盛り上がり。椅子に座っていた方もここぞとばかりに立ち上がり、夏祭りで鍛えた踊りを披露してくれました。いやはや、なんともさやま園らしいパーティーになりました。





さやま園の山荘
あまのどんぐりの家



あまのの大根掘り

山梨県北杜市のあまの町のさやま園の山荘「どんぐりの家」には畑があり、毎年大根を育てています。そして冬の始まる時期に、その大根をさやま園のメンバーが収穫しています。

今年も11月15日、わかばグループが収穫を行いました。大根を抜く係、大根を運搬する係に分かれ、手際いい？作業のおかげで、沢山の大根を収穫。その数なんと1000本以上！

作業のあとは、お風呂で汗と泥を流し、みんなでカレーを作り、あまののスペシャルメニュー職員特製大根ステーキをいただきました。その後のレクリエーションは、景品のお菓子をかけた輪投げ大会。食後のデザートを得ようとして、みんなの目は真剣そのものでした。

この日はどんぐりの家で一泊し、翌日は近くの公園を散歩。そこで存分に自然を堪能しながらお弁当を食べたあと、さやま園へ帰って来ました。こうして無事出張収穫のミッションは達成されたのでした。

この採れた大根は、12月にさやま園名物、美味しいたくあんになります。

《スケジュール》

1日目

- 9:00 さやま園を出発
- ↓
- 談合坂サービスエリアで休憩
- ↓
- 11:30 どんぐりの家に到着
(お昼ごはんはからあげ弁当)
- ↓
- 12:30~15:00 大根掘り
- ↓
- 16:30 入浴(泥を落としてさっぱり)
- ↓
- 17:30 夕飯(この日のメニューはカレーと大根ステーキ)
- ↓
- 18:30~19:30 レクリエーション(景品のお菓子を狙って、輪投げ大会)
- ↓
- 21:00 就寝(ゆっくり寝て、しっかり疲れを取りましょう)



みんなで作った夕飯のカレーライス

2日目

- 7:00 起床
- ↓
- 8:00 朝食(パンと卵の洋風メニューでした)
- ↓
- 9:00 掃除
- ↓
- 10:30 お弁当購入
- ↓
- 11:30 散歩・昼食(野外でお弁当をいただきました)
- ↓
- 12:30 あまのを出発
- ↓
- 談合坂サービスエリアで休憩
- ↓
- 16:00 さやま園到着(みなさんお疲れ様でした)



朝食



お菓子的めがけて輪投げ。入れ～！



 PHOTO GALLERY



旅 travel

前回に引き続き、旅の様子をご紹介します。
今回は1Fフロアグループの旅をご紹介します。



1F フロア group 狭山湖編

9月組は狭山湖方面へ行ってきました。1日目はぶどう狩りに行き、みなさん美味しそうなぶどうを選んでゲット!自分で採ったぶどうの味はどうだったでしょうか?みなさんの「美味しい」という声と素敵な笑顔が見られました。宿では美味しいごはんをたくさん食べてお腹いっぱい。食後はカラオケも楽しみました。それぞれ自分の好きな曲を歌い、手拍子を送っていました。

2日目は動物園へ。近くで見るシマウマやキリンは大きくて迫力満点でした。動物に直接餌をあげたり、近くで写真を撮ったりとても楽しそうでした。

さやま園に帰って来てからはちょっぴりお疲れモードの方もいましたが、普段なかなかみる事のできない動物を見たり、ぶどう狩りをするなど充実した2日間になりました。



1F フロア group 秩父編

10月・11月組は秩父へ行ってきました。バスの中から「楽しみだね!」と話し、秩父に着く前から盛り上がりしていました。昼食はバイキングでピザやパスタ、カレーなどをお腹いっぱい食べました。「まだ食べる!」とたくさんおかわりをして大満足。宿に到着してからは散歩をしたりお土産を見たり部屋でのんびりしたりと皆さんそれぞれ好きに過ごしていました。11月は宿の窓からほんのり色付いた紅葉とクリスマスのイルミネーションが見えました。

そして「いただきまーす!」の掛け声で夜ご飯。お鍋やうどん、お刺身、色とりどりのおかずが並び、普段とは違った秩父ならではのものや季節の食事を楽しみました。食後のカラオケではみなさん大熱唱。美空ひばりや松田聖子など大物歌手が勢ぞろいしたコンサートのような感じでした(^) 2日目はぶどう狩りへ。色々な種類のぶどうの食べ比べをしながら自分たちで美味しそうなぶどうを選んで採りました。みなさんぶどうを採る事よりも食べる事に集中していたような・・・。「どのぶどうが一番おいしかった?」と聞くと真っ先に「緑!」とシャインマスカットを挙げていました。美味しいごはんと美味しいぶどうをたくさん食べてちょっぴり(?)大きくなってさやま園に戻ってきたみなさんでした。



食

Food

さやま園のお食事

ご利用者の皆さんにとって、お食事は一日の大きな楽しみの一つです。
献立表の前で、「今日のお食事は何でしょうねえ」と人だかりになることも珍しくありません。
そんなご利用者の大切なお食事をさやま園では直営の調理場にて、安全と健康と美味さにこだわり提供をしております。
また、食事を通してコミュニケーションやアミューズメント・食育等へも重きを置いています。

今回はさやま園の食の喜びを紹介します。

年に4回「お楽しみ給食」があります。栄養士がメニューを考えるのではなく、調理場が一丸となって「ご利用者に楽しんでもらいたい」、「旬の食材を味わってもらいたい」という思いでメニューを考え作っています。
ちなみに11月テーマは「秋の行楽弁当」。秋満載の食事を楽しみました。
きのこご飯、揚げさんま、りんごのグラタン等…。「どれから食べようかな〜」とみなさん美味しそうに食べていました。

また、一月に一度、選択食を行っています。
プチケーキやさやま園調理場でその日に焼く手作りパンなど好評を頂いております。

10月はおにぎりの選択食を行いました。
おにぎりはご利用者から食べたいとリクエストがあったため、メニューにとりいれました。ただ、海苔は食べられない方もいたので、きざみ海苔を使用しました。
きざみ海苔で少し見た目は悪くなりましたが…、安全においしく食べる事ができました。
たらこ、鮭、梅、おかか、昆布、おはぎの5種類のうち、一番人気は鮭でした。
中には、3個中2個をおはぎにする方もいらっしゃいました。

このほかにも、お花見、運動会、夏祭り、園祭、クリスマス会、新年会
春の集いなど行事食も行います。

ご利用者の「おいしい」と笑顔はさやま園調理場職員にとってパワーの源。
思考を凝らし、さらに満足いただける食事提供を目指します。



11月のお楽しみ給食



10月の選択食

参加者募集中

BORDERLESS project vol.3 WORKSHOP



ヤマコヤのやまさき薫さんに教わるシルクスクリーン

ボーダーレスプロジェクト vol.3

親子でつくる シルクスクリーンのエコバッグ in さやま園

さやま園で、みんなでワークショップしませんか？
知的障害者の入所施設 さやま園がお届けする、ボーダーレス・プロジェクト
第3弾！今回は東小金井でアトリエ・ヤマコヤを主宰する、クリエイターのやまさ
き薫さんをお迎えして、シルクスクリーンのワークショップを開催します。

日時：2018年1月20日(土) 受付 13:30・作業時間 14:00~16:00

参加対象者：3歳~小学校低学年までのお子様と保護者の方(2名1組)

会場：さやま園 陶芸室

参加料：¥300(材料費込み) 出来上がったエコバッグは、お持ち帰りいただけます。

申し込み・お問い合わせは、下記担当者にお電話ください。

TEL：042-391-3275(受付時間：平日9:00~17:00) さやま園広報委員 人見まで

● 要予約制。定員になり次第、申し込みは終了いたします。
* 駐車場のご用意はありません。

職員のつぶやき

我家の少子高齢化

「羊」「辰」「丑」。我が家系では男親33才での長男誕生が2代続いている。先般、長男(32才)の彼女の両親にお会いするため京都に行ってきた。親族に初めて関西の血筋が入り込むことになる。と同時に、3代目の親父33才での長男が生まれる可能性も出てきた。

33という数字に殊更拘るわけではないが、1世紀を3代で回し、66才で孫の顔を見て「白寿」で曾孫の声を聞くというのも悪くはない。少子高齢化が叫ばれている折から、それなりの意味合いもありそうである。

このようなことを京都帰りの新幹線で考えていた私の隣の席には、長男の姉上様が座っていた。彼女は老人ホームで生活相談員をしながら、我が家に寡少の部屋代(食費込み)を払いつつ少子高齢化の最先端を歩み続けている。

今年になって介護保険の被保険者証が夫婦に相次いで届くなど、ごく平凡な我家にも高齢化と少子化の波が着実に押し寄せてきている(というか波を起こしている)という現実を思いを寄せるこの頃です。

すみれG 尾滝

編集後記

いつの間にか2017年も残りわずかとなりました。おかげさまで利用者や職員の笑顔が沢山見られた年でした。来年はもっともっとたくさんの笑顔が見えますよう、みなさんにもたくさんの笑顔をお届けできますよう精進致します。寒いので皆さまおかせには気を付けてください。来年もどうぞよろしくお願ひ致します。

お知らせ

＊みつぼし

1月の東村山市子育て総合支援センター「ころころの森」の定期販売は、お休みさせていただきます。

＊シルクスクリーンのワークショップ

1月20日(土)に“シルクスクリーンのワークショップ”を開催します!!

イラストレーター/デザイナー/シルクスクリーン版画家 やまさき薫さんをお招きします。やまさきさんは「暮らすこと、つくること、伝えること」を大切に、ものづくりをされている方です。場所や人、媒体にあわせて「描く・つくる」を表現しているやまさきさん、今回はどんな「描く・つくる」が生まれるのでしょうか。みなさまと一緒に体感しませんか?応募は先着順です!お気軽にお問い合わせください。

行事

＜報告＞

10月 さやま園祭、ケニア音楽コンサート
11月 仮面ダンスパーティー
12月 イルミネーションハイク、クリスマス会

＜予定＞

1月 新年会・成人式
3月 春のつどい

発行元：指定障害者支援施設 さやま園
発行責任者：荒井隆夫
住所：〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-7-13
TEL：042-391-3275・FAX：042-391-3276

さやま園のホームページ

<http://www.sayamaen.com>
ブログ
<http://temae2016.jugem.jp/>

